

生徒向け設問 1「定時制を選んだ理由は何ですか」について

上位回答	C 高校卒業資格を得るため	66.1% (72.6%)
	G 進学・就職のため	42.0% (37.7%)
	I 自分のペースで勉強できるから	40.0% (30.2%)
	H 昼間働くことができるから	40.0% (29.2%)
	B 基礎学力をつけるため	36.2% (37.7%)

分析：複数回答可としている設問。昨年度と比較し、多くの項目で選択割合が増加した。一人一人の本校へのニーズが多岐にわたっており、教育活動に対して期待値が高いと捉えられる。ニーズによりこたえられるよう、改善も図りつつ努力していきたい。

教師と生徒の回答の比較

生徒設問番号	内容	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
2	生徒 本校に入学してよかったと思う	89.7	89.4	91.3	85.6	91.5	91.5	91.2
	教員 本校は多くの生徒にとって魅力のある学校である	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	生徒 本校に友人がいる	/	/	/	/	83.8	85.8	86.8
4	生徒 先生は生徒の話を聞いてくれる	89.5	81.9	87.5	85.6	90.5	92.5	91.1
	教員 生徒の話を聞くよう努力している教員が多い	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5	生徒 授業はわかりやすい	/	/	/	/	93.3	90.5	91.2
6	生徒 授業について工夫をしている先生が多い	84.9	82.1	92.2	85.4	90.5	94.3	92.9
	教員 授業について工夫をしている教員が多い	100.0	100.0	100.0	100.0	93.3	100.0	100.0
7	生徒 授業などでプロジェクターが活用されている	/	/	/	/	94.3	94.3	92.9
8	生徒 成績評価について納得できる	87.7	85.3	90.1	87.1	88.6	86.5	91.2
	教員 評価について生徒に丁寧に指導説明している教員が多い	92.3	100.0	100.0	100.0	92.9	100.0	87.0
9	生徒 本校には担任以外の先生にも気軽に相談できる雰囲気がある	80.2	71.6	83.5	77.7	81.7	79.2	79.7
	教員 本校には生徒・保護者が気軽に相談できる雰囲気がある	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	92.3	93.0
10	生徒 先生はいじめなど困っていることがあれば真剣に対応してくれると思う	/	/	/	77.5	88.6	84.9	89.4
	教員 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている	/	100.0	92.3	92.3	100.0	83.3	80.0
11	生徒 学校生活を通じて、あいさつなどの規律が身につけてきている	79.4	80.9	83.3	83.3	86.5	88.7	87.6
	教員 生徒は、学校生活を通じて、あいさつなどの規律を身につけてきている	92.9	100.0	92.3	100.0	100.0	84.6	80.0
12	生徒 学校生活について、本校の指導は納得できる	85.8	81.1	86.5	89.4	85.7	84.9	93.8
	教員 本校の生活指導は丁寧に納得できるものである	92.9	100.0	100.0	83.3	100.0	92.3	87.7
13	生徒 将来の進路や生き方について考える機会がある	/	/	/	/	85.6	89.6	87.6
14	生徒 進路指導について、本校の指導は納得できる	86.4	80.2	89.0	94.0	86.4	87.7	90.3
	教員 本校の進路指導はきめ細やかに生徒の面倒を見ている	92.9	91.7	92.3	83.3	100.0	92.3	100.0
15	生徒 人権や命の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会がある	/	/	/	/	88.6	88.7	92.1
16	生徒 学校の行事は楽しく参加できるよう工夫されている	/	/	/	/	88.5	81.1	86.7

備考：教員の行かない場合は、生徒と比較できる設問がないためです。

【設問2、4、6】教職員の肯定的回答率が100%に対して、生徒が90%程度である。改善点すべき点について、生徒や保護者の意見に真摯に対応していきたい。

【設問9】「担任以外にも気軽に相談できる」肯定的回答率 教職員93.0%に対して、生徒79.7%であった。個々の教職員の意識だけでは、この数字の乖離解決は難しい。生徒の目線で「気軽にそうだんできる」状態や環境について、組織的に工夫していく必要がある。

【設問10】「いじめ事象への対応」について、生徒の89.4%は教職員の対応に肯定的な回答であった。

しかしながら、教員の「いじめ事象への校内体制」に対する肯定的回答率は80.0%であり、改善の必要を感じていることがうかがえる。「いじめ事象対応」に対して、生徒よりも教員が危機感や不安感をもっているということは、本校の教職員が、生徒や生徒間の問題について敏感に察知し対応するという態度の表れであるとも考えられる。

【設問11】「あいさつなどの生活習慣の獲得」について、生徒自身は、87.6%が、肯定的な回答をしているのに対し、教職員は80.0%である。生徒の「できた」感覚は、より望ましい生活習慣の確立のために必要な要素である。結果の隔たりは、立場上、通常有り得るものとも思われるが、生徒の「自己効力感」を育む視点での生徒指導を今後も心掛けていく。

【設問14】「進路指導」について、肯定的回答率 教職員100%に対して、生徒90.3%である。教職員の人数が少なくなる中で、生徒一人一人の立場